

校長室だより



平成22年（2010年）9月2日

校長 箱家 勝規

3つの問い

昨日の始業式で、私は生徒に3つの問いかけをしました。

第1問 「自分には、よいところがあるか」

第2問 「将来の夢や目標を持っているか」

第3問 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ
と思うか」



去年の2学期の始業式にも同じ問いかけをしたことがありますが、この3つの問いに、全員が「Yes」と答えてくれるような学校にしなければいけないと思っています。

なぜなら、学校は、勉強をしたり、社会性を養っていく場所ですが、それらを通して、ひとりひとりの生徒が「自分のよいところを見つけ」、「いじめを許さず」、「将来の夢や目標を持って」、社会に巣立っていけるようにするところでもあるからです。

「自分のよさ」は、案外気づかないものです。

国語の授業中、発表したある生徒に「よくとおったきれいな声やね」と耳打ちしますと、とてもうれしそうに顔をしてくれたことがあります。また、ノートに記入している生徒に「丁寧な字で整理して書いているね」と言ったときも、笑顔でうなずいてくれました。人に言われて「そうなんだ」と自覚することも少なくありません。「自分のよさ」は、まわりが気づかせてくれるものかもしれないと思っています。

将来の夢や目標は、保護者の方や教師などの大人、地域の方々などと話をしている中で、少しずつ形となって、生徒が言葉で表せるようになることがあります。生徒自身が、見て、聞いて、触れて、感じて、夢や目標を持ち始めることもあります。

生徒のまわりにいる大人が、積極的に関わりながら、将来のこと、生徒のよさ、就きたい職業のことなどを語り合い、よい体験をどんどんさせることにより、夢や目標が持てるようになると思っています。

夏休み中に、ある企業からコンピュータ室の生徒用椅子のクッションを寄付していただきました。ご遠慮されましたのでお名前の公表はいたしません、大事に使わせていただきます。